

3 小学校児童個別項目

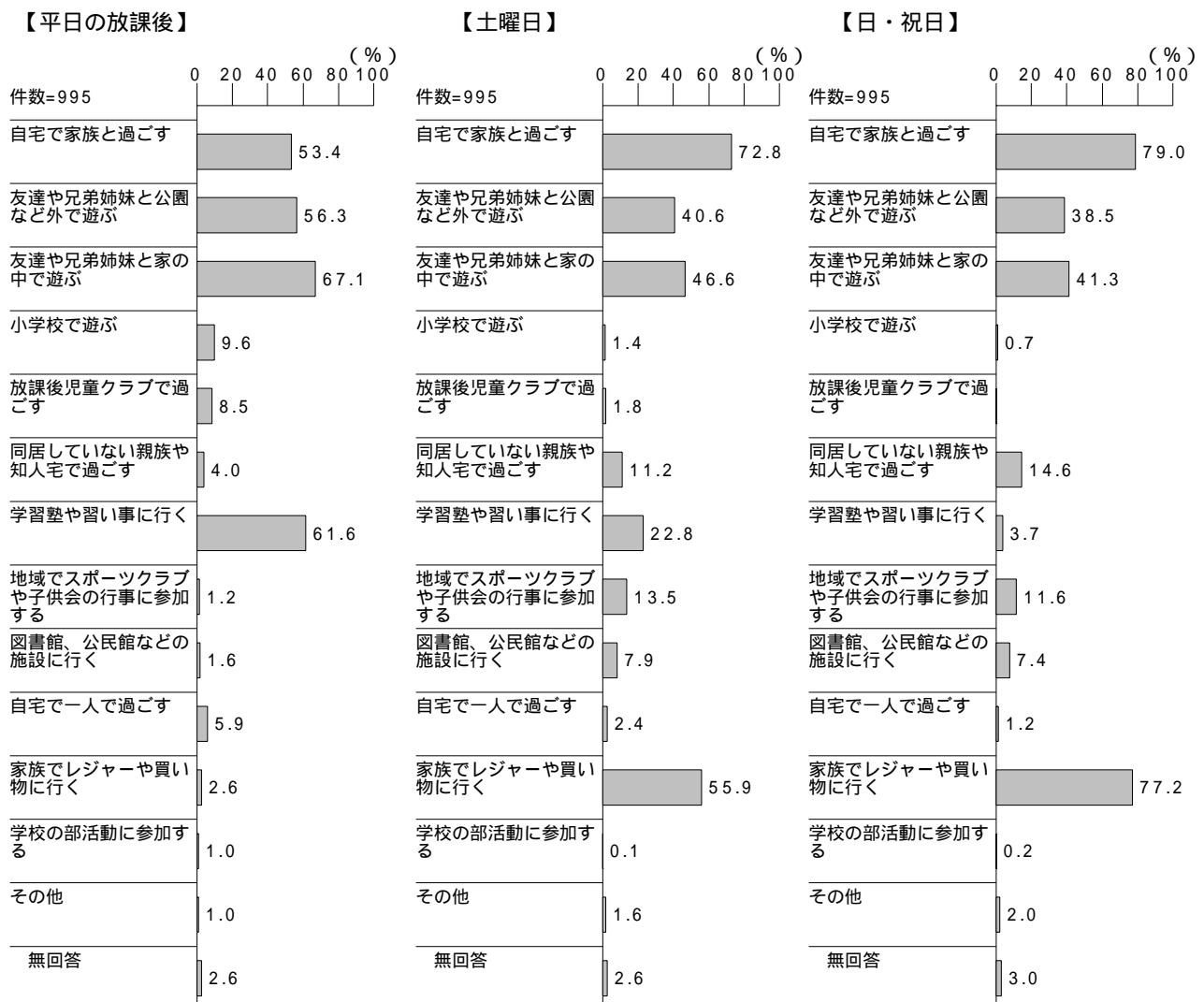
(1) 子どもの日常の過ごし方などについて

1) 子どもの過ごし方

平日の過ごし方は、「友達や兄弟姉妹と家の中で遊ぶ」が67.1%と最も多く、次いで「学習塾や習い事に行く」(61.6%)、「友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」(56.3%)、「自宅で家族と過ごす」(53.4%)と続いている。

土曜日の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が72.8%と最も多く、次いで「家族でレジャーや買い物に行く」(55.9%)、「友達や兄弟姉妹と家の中で遊ぶ」(46.6%)、「友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」(40.6%)と続いている。

日曜・祝日の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が79.0%と最も多く、「家族でレジャーや買い物に行く」(77.2%)、「友達や兄弟姉妹と家の中で遊ぶ」(41.3%)、「友達や兄弟姉妹と公園など外で遊ぶ」(38.5%)と続いている。土曜日との行動比較をすると、上位項目は同じだが、日曜に「学習塾や習い事」が少なくなっている。その分「家族でレジャーや買い物に行く」が増えている。

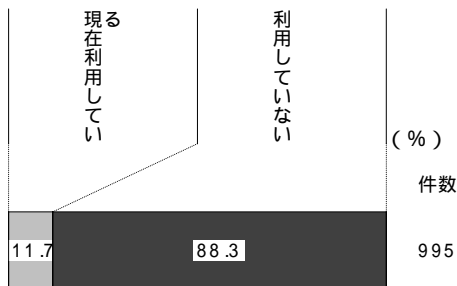


2) 放課後児童クラブの利用状況

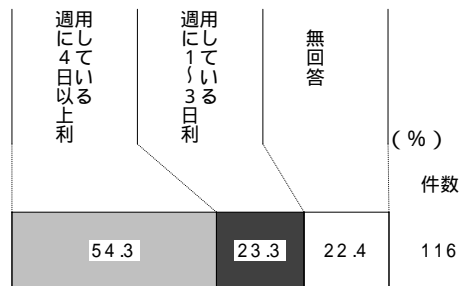
放課後児童クラブの利用状況については、「利用していない」が 88.3%、「現在利用している」は 11.7%と 1 割程度になっている。

放課後児童クラブの平日の利用日数は、「週に 4 日以上利用している」が 54.3%と半数を占めている。土曜の利用日数は、「利用していない」が 58.6%と最も多く、「ほぼ毎週利用している」は 9.5%となっている。長期休暇期間の利用日数は、「ほぼ毎日利用している」が 67.2%と最も多く、「利用していない」は 8.6%となっている。

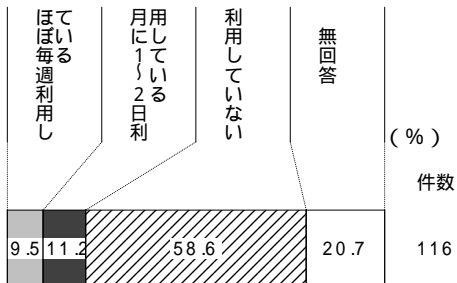
【利用状況】



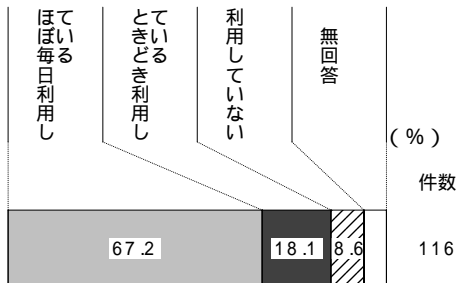
【平日の利用頻度】



【土曜日の利用頻度】



【長期休暇期間の利用頻度】

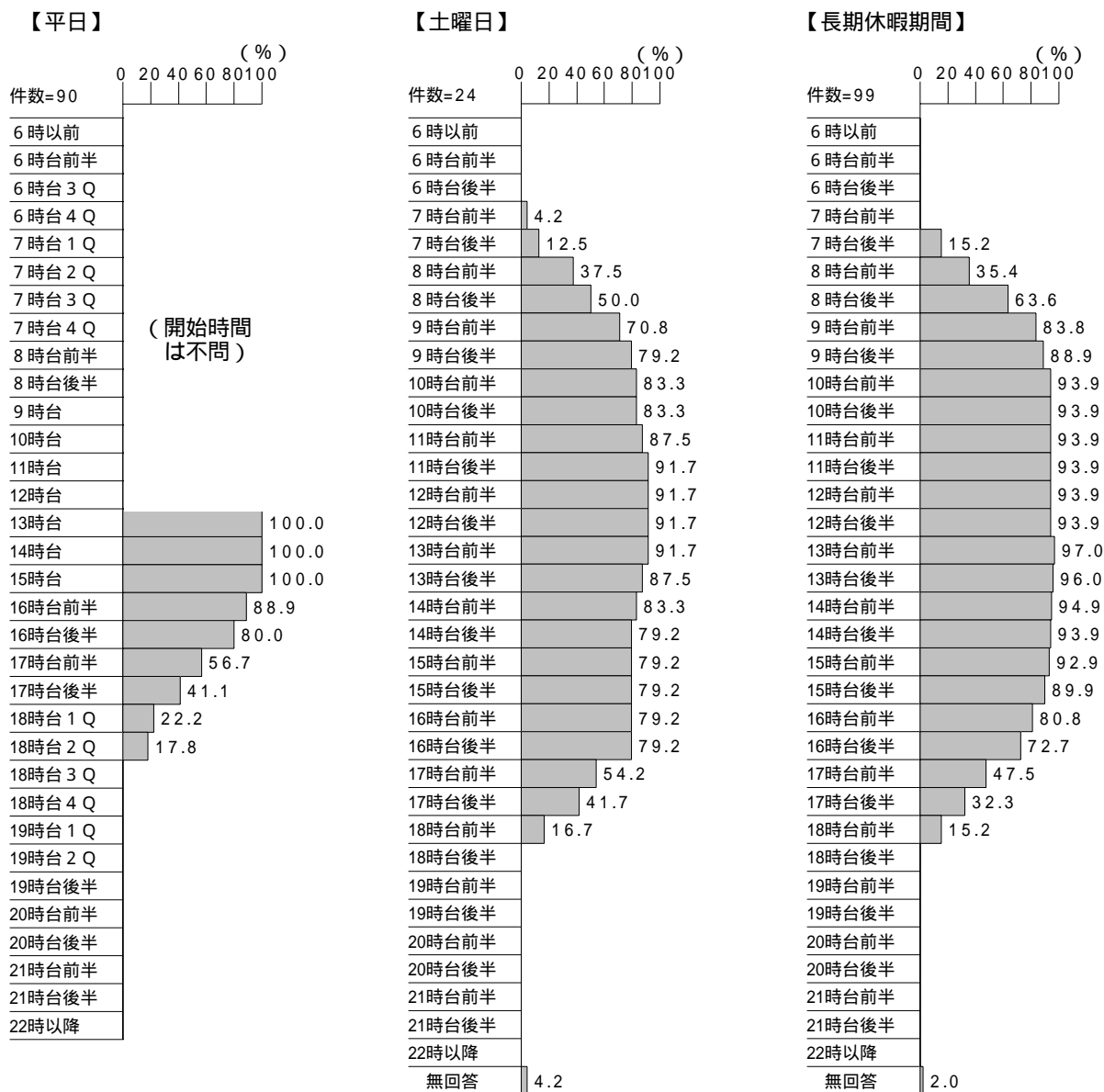


【利用時間帯】

放課後児童クラブの平日の利用時間は、「15 時台前半」までは全員利用しており、それ以降徐々に利用率は減少していき、「18 時台前半」で 22.2%となっている。

土曜の利用時間は、17 時と 18 時を境に利用人数の減少がみられる。

長期休暇期間の利用時間は、土曜の利用時間と同じような傾向がみられる。



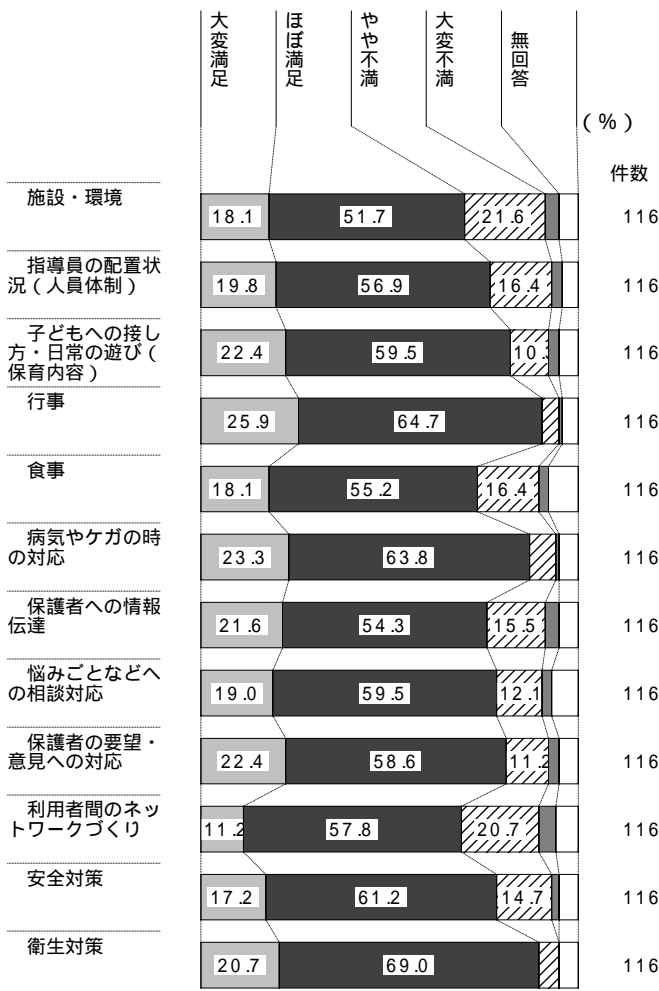
3) 放課後児童クラブに対する満足度

放課後児童クラブの満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」を合わせた“満足している”と答えた人が、「行事」で90.6%と最も多く、次いで「衛生対策」(89.7%)、「病気やケガの時の対応」(87.1%)、「子どもへの接し方・日常の遊び(保育内容)」(81.9%)で多くなっている。その他の項目でも概ね7割以上の満足度を得ており、利用者の満足度は総じて高いことがうかがえる。

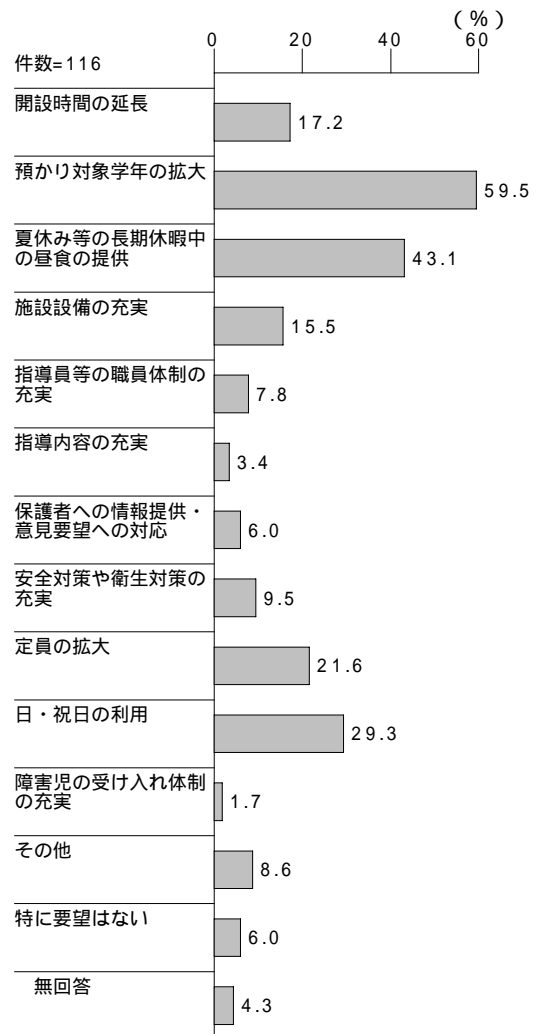
4) 放課後児童クラブへの要望

放課後児童クラブへの要望は、「預かり対象学年の拡大」が59.5%と最も多く、次いで、「夏休み等の長期休暇中の昼食の提供」(43.1%)、「日・祝日の利用」(29.3%)、「定員の拡大」(21.6%)、「開設時間の延長」(17.2%)、「施設設備の充実」(15.5%)と続いている。

【放課後児童クラブに対する満足度】

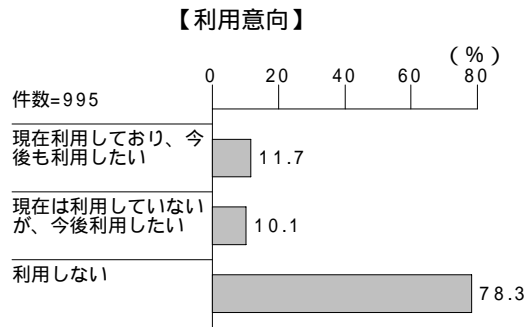


【放課後児童クラブへの要望】



5) 放課後児童クラブの利用意向

放課後児童クラブの今後の利用意向は、「現在利用しており、今後も利用したい」と答えた人が11.7%、「現在は利用していないが、今後利用したい」と答えた人が10.1%となっており、これらを合わせた“利用したい”人は約2割(21.8%)を占めている。一方、「利用しない」と答えた人は78.3%と、約8割を占めている。



平日の利用希望日数は、「週4日以上利用したい」が46.3%、「週に1～3日利用したい」が32.9%となっている。また、「利用希望はない」は12.5%となっている。

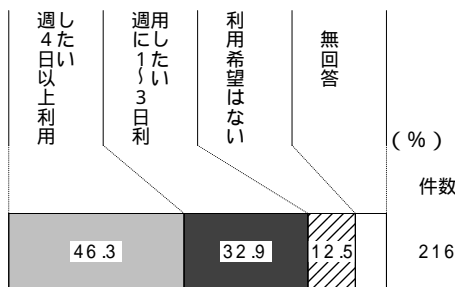
土曜日の利用希望日数は、「ほぼ毎週利用したい」が10.2%、「月に1～2日利用したい」が27.8%となっている。また、「利用希望はない」は51.4%となっている。

日曜日の利用希望日数は、「ほぼ毎週利用したい」が0.5%、「月に1～2日利用したい」が12.0%となっている。また、「利用希望はない」は73.6%となっている。

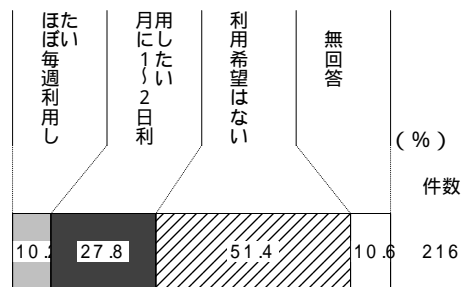
祝日の利用希望日数は、「ほぼ毎回利用したい」が18.5%、「年に数回利用したい」が19.4%となっている。また、「利用希望はない」は49.1%となっている。

長期休暇期間の利用希望日数は、「ほぼ毎回利用したい」が75.9%、「月に1～2日利用したい」が13.4%となっている。また、「利用希望はない」は6.5%となっている。

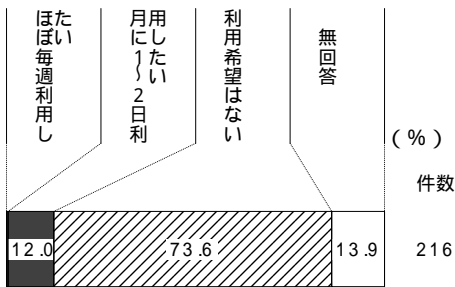
【平日の利用希望頻度】



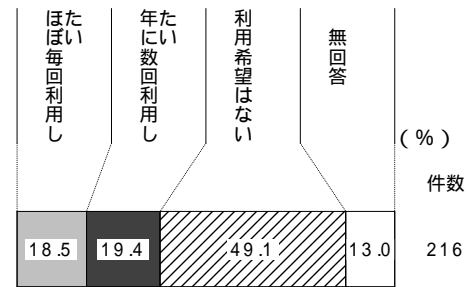
【土曜日の利用希望頻度】



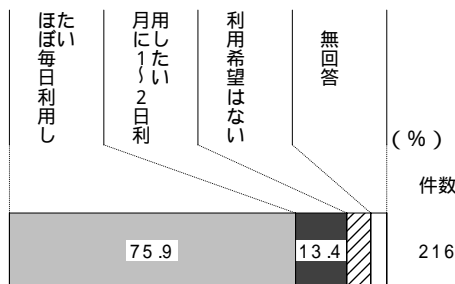
【日曜日の利用希望頻度】



【祝日の利用希望頻度】



【長期休暇期間の利用希望頻度】

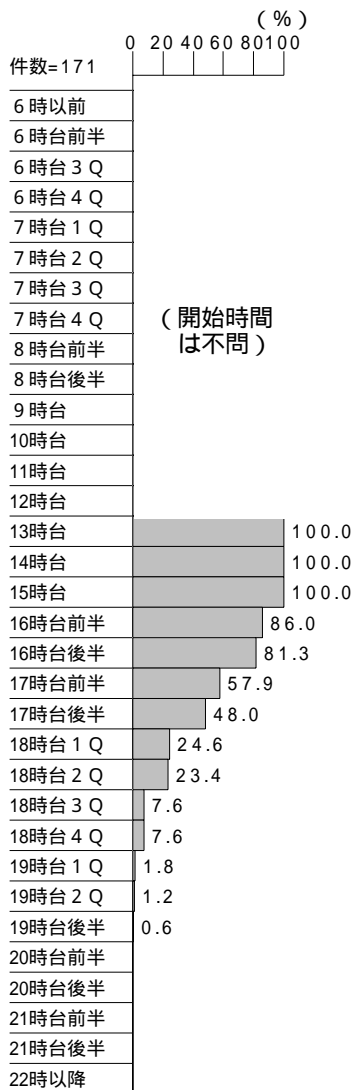


【利用時間帯】

平日の利用希望時間は、「13時台～16時台」での利用希望が多くなっている。

土曜日、日曜日、祝日、長期休暇期間の利用希望時間は、いずれも「9時台～16時台」での利用希望が多くなっている。

【平日】



【土曜日】



【日曜日】



【祝日】

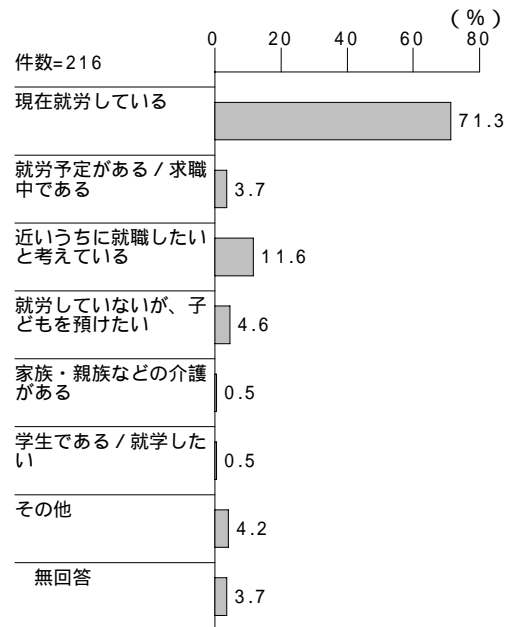


【長期休暇期間】



6) 放課後児童クラブを利用したい理由

放課後児童クラブを利用したいと思う理由は、「現在就労している」が71.3%と最も多く、次いで「近いうちに就職したいと考えている」(11.6%)の順となっている。

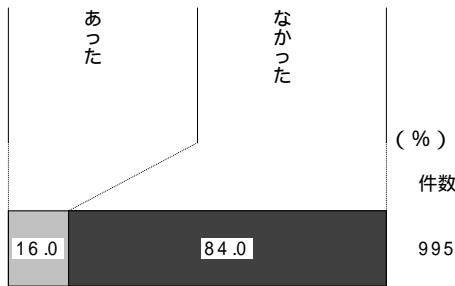


7) 泊まりがけ保育の必要性

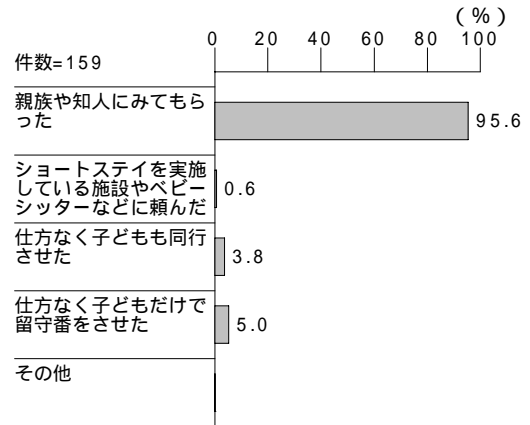
保護者の泊まりがけの用事などで、お子さんの面倒をみられなくなったことが「あった」と答えた人は16.0%となっている。

保育できなかつたときの対処法は、「親族や知人にみてもらった」が95.6%と最も多くなっている。また、休んだ日数は、「親族や知人にみてもらった」で、「1～3日」が最も多くなっている。

【泊まりがけの用事で子どもの面倒をみられなかったこと】



【面倒をみられなかった時の対処方法】



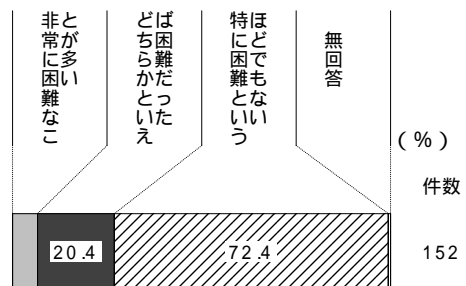
【休んだ日数】

	調査数	1 ～ 3 日	4 ～ 6 日	7 ～ 9 日	10 ～ 12 日	13 ～ 15 日	16 ～ 20 日	21 ～ 30 日	31 ～ 40 日	41 ～ 50 日	51 ～ 60 日	61 日 以上	無 回 答	平均 (日/年)
親族や知人にみてもらった日数	152	80	29	10	12	1	4	8	3	-	2	-	3	7.0
ショートステイを利用した日数	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0
仕方なく子どもも同行させた日数	6	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数	8	2	25.0	-	2	25.0	-	-	-	-	-	-	-	7.4
その他の日数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

上段：件数（人）
下段：構成比（%）

親族や知人に預ける困難度は、「非常に困難なことが多い」が6.6%で、これに「どちらかといえば困難だった」(20.4%)を合わせた、27.0%の人が“困難である”と答えている。

【親族や知人に預ける困難度】

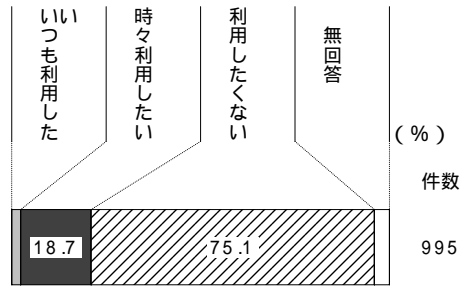


8) 子育て短期支援事業(ショートステイ)の利用意向

ショートステイの利用希望は、「いつも利用したい」が2.3%で、これに「時々利用したい」(18.7%)を合わせた21.0%の人が“利用したい”と答えている。

一年間での利用希望日数は、平日、土曜日、日・祝日どれも「1~3日」が多くなっている。

【ショートステイの利用意向】



【休んだ日数】

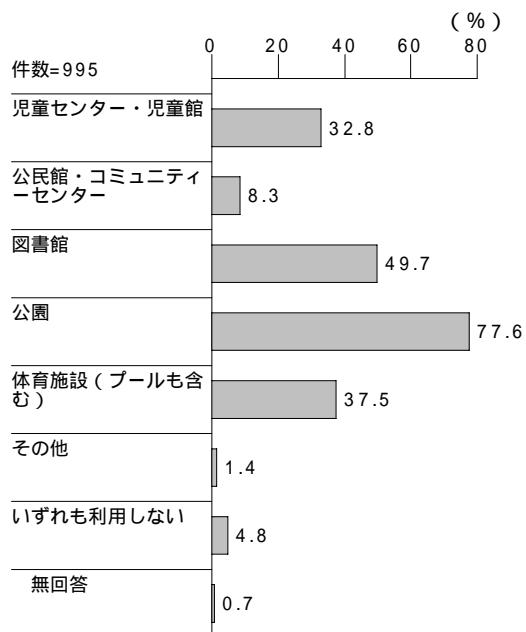
	調査数	1 } 3 日	4 } 6 日	7 } 9 日	10 } 12 日	13 } 15 日	16 } 20 日	21 } 30 日	31 } 40 日	41 } 50 日	51 } 60 日	61 } 以上	無回答	平均 (日/年)
ショートステイの利用希望 日数/平日	209 100.0	85 40.7	14 6.7	4 1.9	9 4.3	-	2 1.0	1 0.5	-	-	-	-	94 45.0	3.4
ショートステイの利用希望 日数/土曜日	209 100.0	114 54.5	17 8.1	4 1.9	11 5.3	-	-	-	-	-	-	-	63 30.1	2.8
ショートステイの利用希望 日数/日曜・祝日	209 100.0	85 40.7	15 7.2	3 1.4	6 2.9	-	-	-	-	-	-	-	100 47.8	2.7

上段：件数(人)
下段：構成比(%)

(2) 地域との関わりについて

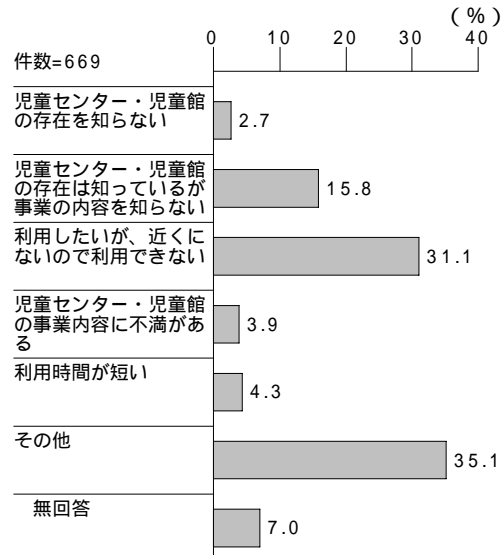
1) 子どもが利用する公共施設

子どもがよく利用する公共施設は、「公園」が77.6%と最も多く、次いで「図書館」(49.7%)、「体育施設(プールも含む)」(37.5%)、「児童センター・児童館」(32.8%)と続いている。



2) 児童館を利用しない理由

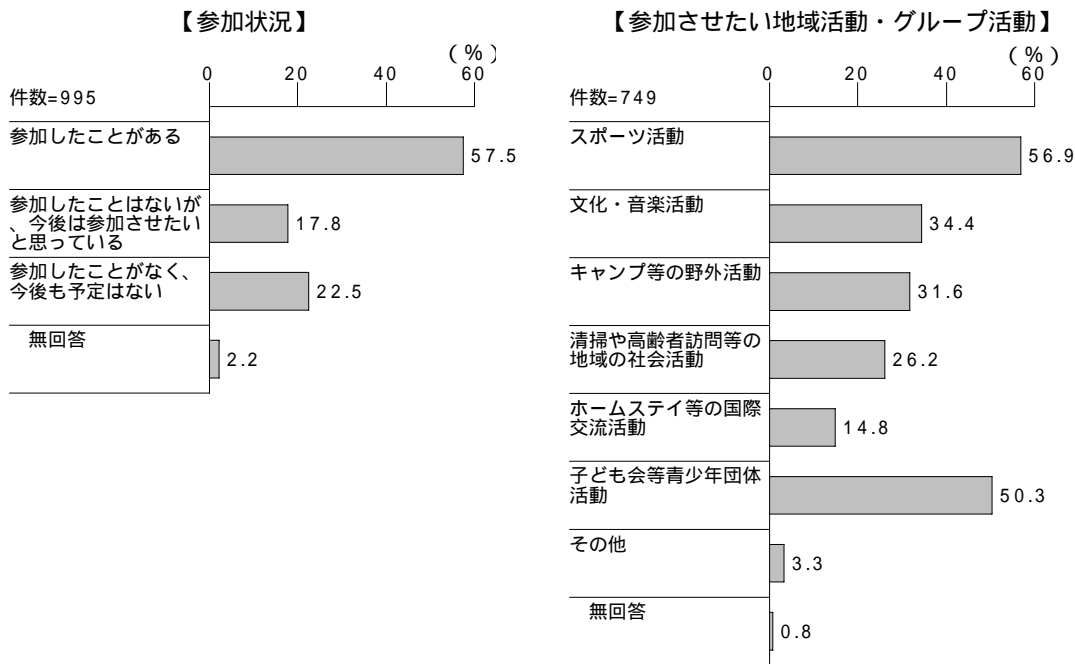
児童センター・児童館を利用していない理由は、「その他」が35.1%と最も多く、その内訳は「必要としていない」(13.3%)、「子どもが行きたがらない」(9.0%)、「年齢が合わない」(2.8%)などが多くなっている。次いで「利用したいが、近くにないで利用できない」(31.1%)、「児童センター・児童館の存在は知っているが事業の内容を知らない」(15.8%)が続いている。



3) 子どもの地域活動やグループ活動への参加状況

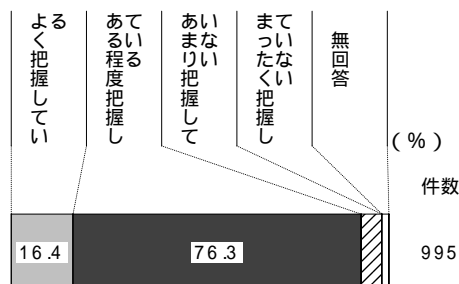
地域活動・グループ活動への参加状況は、「参加したことがある」が 57.5%を占めており、今後の参加意向を持っている「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」は 17.8%となっている。

参加経験がある、もしくは今後の参加意向がある地域活動・グループ活動は、「スポーツ活動」が 56.9%と最も多く、次いで「子ども会等青少年団体活動」(50.3%)、「文化・音楽活動」(34.4%)、「キャンプ等の野外活動」(31.6%)、「清掃や高齢者訪問等の地域の社会活動」(26.2%)と続いている。



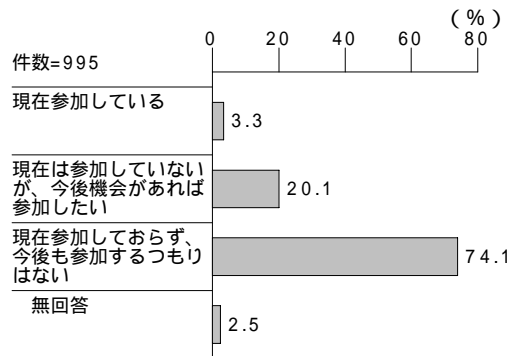
4) 子どもの考えや家庭外での過ごし方の把握

子どもの考えていることや家庭外での過ごし方を「把握している」(「よく把握している」+「ある程度把握している」)と答えた人は、92.7%を占めている。



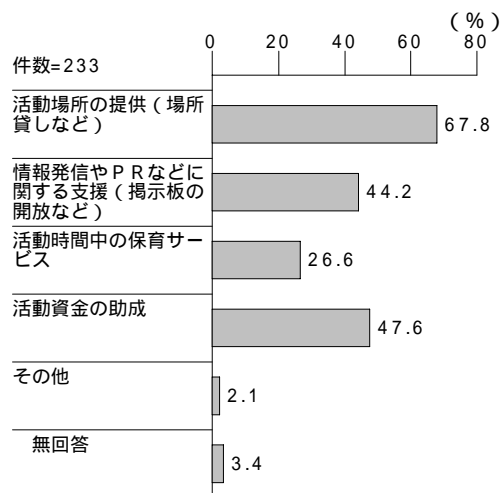
5) 子育てに関する自主活動への参加状況

子育てに関するサークルなど自主的活動への参加状況は、「現在参加している」が3.3%となっており、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が20.1%となっている。



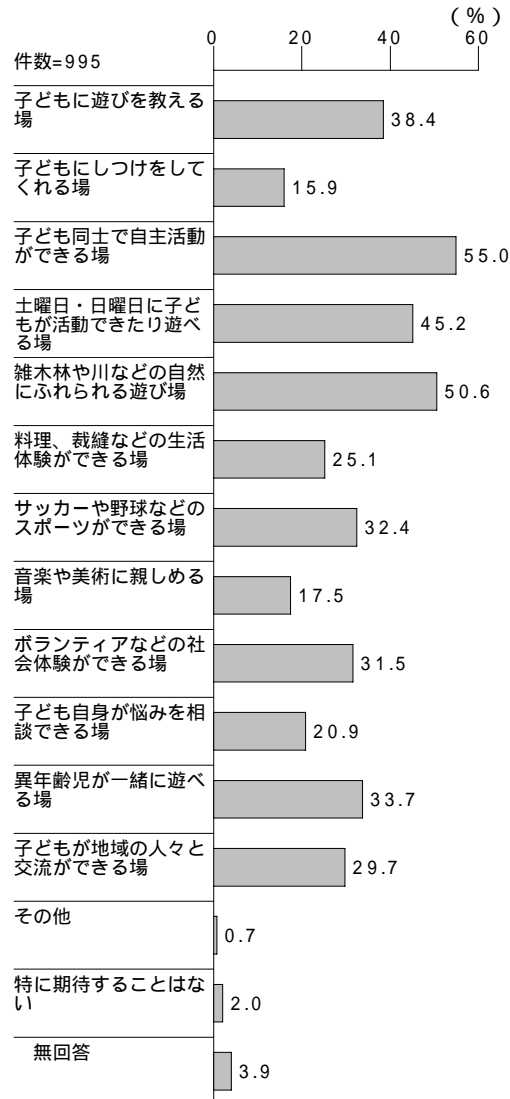
6) 自主活動をしていくにあたり必要な行政施策

自主活動をしていくにあたり必要な行政支援は、「活動場所の提供」が67.8%と最も多く、次いで「活動資金の助成」(47.6%)、「情報発信やPRなどに関する支援」(44.2%)、「活動時間中の保育サービス」(26.6%)と続いている。



7) 子ども同士が集う場に期待すること

身近な地域で子どもが集う場に期待することは、「子ども同士で自主活動ができる場」が55.0%と最も多く、次いで「雑木林や川などの自然に触れられる遊び場」(50.6%)、「土曜日・日曜日に子どもが活動できたり遊べる場」(45.2%)、「子どもに遊びを教える場」(38.4%)、「異年齢児と一緒に遊べる場」(33.7%)、「サッカーや野球などのスポーツができる場」(32.4%)、「ボランティアなどの社会体験ができる場」(31.5%)と続いている。



8) 子どもに必要な学校教育の取り組み

子どもの健全な育成のために学校教育が取り組むべきことは、「思いやりの心をもつための道德教育の充実」が46.1%と最も多く、「子どもが自発的に物事に取り組むことができる環境づくり」(42.0%)、「心身ともにたくましく育つための体力づくり」(20.3%)、「読み、書き、計算などの学力の向上」(19.0%)、「“生きる力”向上のための総合学習の充実」(18.3%)、「子どもの悩みを受け入れる相談体制の充実」(17.7%)と続いている。

